

コンビ ハイ&ロースウィングラック アンレーブ

ES-399

取扱説明書

品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスが行えない場合があります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■本書は大切に保管してください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。

■本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。



もくじ

はじめに

ご使用前に	1
使いかたの目安	1
安全にご使用いただくために	2
各部のなまえ	6

使いかた

高さ調節のしかた	7
キャスター・車輪ブレーキの使いかた	8
シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト) の使いかた	9
テーブルの取り付けかた	11
ベビーボックスの取り付けかた	11
リクライニングの使いかた	12
スウィングの使いかた	13
収納レバーの使いかた	14
シートクッションの取り付けかた	15

その他

日常のお手入れのしかた	16
スウィングラックQ&A	17
保管のしかた	18
点検とアフターサービスについて	18
廃棄方法について	18
SGマークの被害者救済制度	18
品質保証書	裏表紙

ご使用の前に

本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としています。

望ましい連続使用時間

簡易ベッドとして60分間/スウィング15分間 ※1日の合計使用時間：3～4時間

使用できるお子さまの年齢

新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）

簡易ベッドとして使用するときは

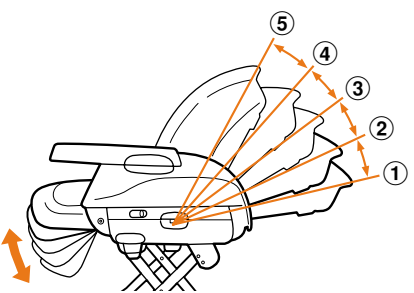
新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～8kg）
※スウィングを使用するときも同じです。

いすとして使用するときは

腰がすわってから（おすわりができるようになってから）48ヵ月まで
（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）

使いかたの目安

月齢の目安		新生児 ～2・3ヵ月	2・3ヵ月 ～5・6ヵ月		5・6ヵ月 ～48ヵ月
発育状態の目安		首がすわるまで	腰がすわるまで		腰がすわったころ
使用方法	簡易ベッド	○	○		×
	いす	×	○		○
スウィング		○	簡易ベッド ○	いす ×	×
			リクライニング①②使用時はスウィング可、③使用時は不可		
シートベルト	肩ベルト	必ず使用	リクライニング①②使用時は必ず使用、③使用時はどちらでも可		×
	腰/股ベルト	必ず使用	必ず使用		必ず使用
リクライニング角度の使用範囲		①	①②	③	③④⑤



●新生児とは…この取扱説明書では、体重2.5kg以上で在胎週数37週以上のお子さまとしています。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性がります。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
×	禁止行為であることを告げるものです。

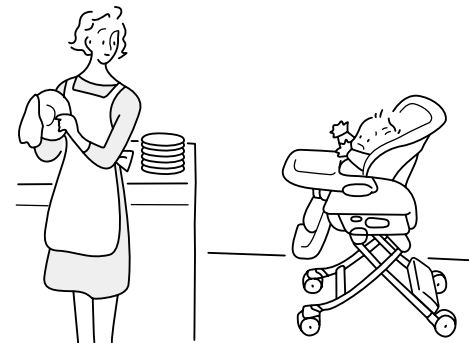
✍	補足説明
---	------

⚠警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

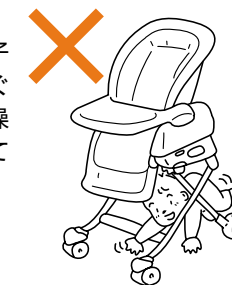
- 使用できるお子さまの年齢：新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
 - ・簡易ベッドとして使用するときは（1ページのリクライニング位置①と②）
 - ：新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～8kg）
 - ※スウィングを使用するときも同じです。
 - ・いすとして使用するときは（1ページのリクライニング位置③④⑤）
 - ：腰がすわってから（おすわりができるようになってから）48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
- 必ず股ベルト、腰ベルトを使用してください。さらに簡易ベッドとして使用するときは、必ず肩ベルトも使用してください。※スウィングを使用するときも同じです。

思わぬ事故をまねくおそれがあります。

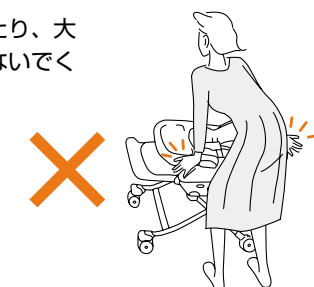
- 必ず保護者の目の届くところで使用してください。また、絶対にお子さまを1人で放置しないでください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目はなさず十分注意してください。



- ラックの周りにお子さまがラックの下にもぐり込んだり、ラックの操作をしないよう注意してください。



- ラックに腰かけたり、大人が荷重をかけないでください。

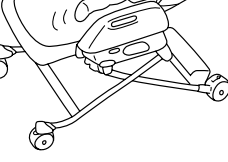


思わぬ事故をまねくおそれがあります。

●一時的なお昼寝などには使用できませんが、夜間就寝などの長時間寝させるベッドとして使用しないでください。



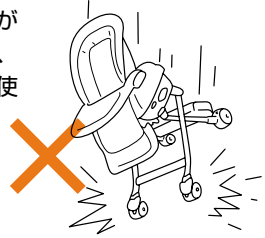
●簡易ベッドとして使用するときは、お子さまをうつぶせで寝かせないでください。窒息するおそれがあります。



●収納ポジションでは使用しないでください。

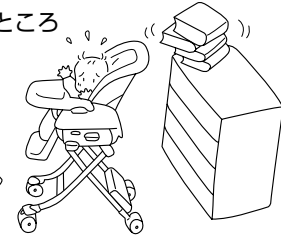
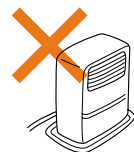


●落下するなど、強い衝撃が加わり、変形・割れなど、部品が破損したラックは使用しないでください。



●次のような場所では使用しないでください。

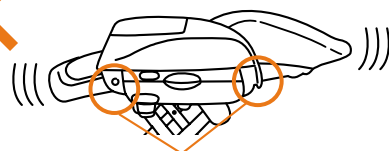
- ・ストーブなど火気の近く
- ・落下物の心配のあるところ



●ラックの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。



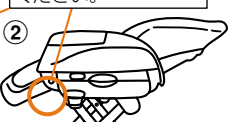
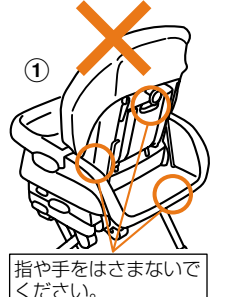
●スウィングするときに、サイドガードとサイドカパーの間、ステップ裏側のすき間に指や手をはさまないように注意してください。



指や手をはさまないでください。

●リクライニングを操作するときに、指や手をはさまないように注意してください。

- ① リクライニングレバー周辺や本体背部、本体座部の間
- ② ステップ裏側
- ③ サイドガードと背もたれの間

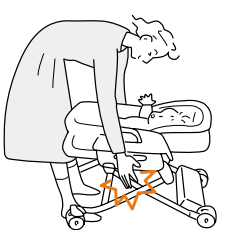


指や手をはさまないでください。

●ベンジン、シンナー、ガソリン、磨き粉などでふいたり、殺虫剤をかけないでください。



●高さを調節するときや、収納レバーを操作するとき、脚の間に指や手をはさまないように注意してください。



お子さまが落ちるおそれがあります。

●股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。簡易ベッドとして使用される場合は、必ず肩ベルトも使用してください。※スウィングを使用するときも同じです。



●お子さまが座面やステップに立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないように注意してください。



●肩ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと締めてください。(10ページ参照) リクライニングで角度を変えたときは、そのつどシートベルトを調節してください。(9ページ参照)



●お子さまが乗り降りするとき、特にお子さまがステップを踏み台にして乗り降りするときは、必ず保護者が付き添ってください。



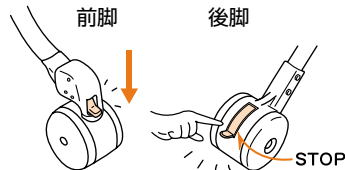
●お子さまを乗せたまま、持ち上げて移動したり、高さ調節、収納レバー、リクライニングなどの操作をしないでください。また、操作は必ず保護者が行ってください。



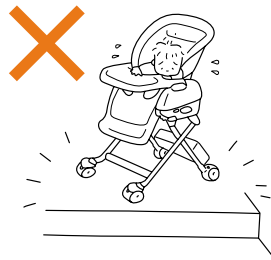
次ページにつづく

ラックが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- 移動するとき以外は、必ず次のことをご守りください。
 - ・前脚のキャスターロックレバーを下げ車輪を回転させロックしてください。(8ページ参照)
 - ・後脚のブレーキレバーをSTOPの位置にしてロックしてください。(8ページ参照)



- 製品は水平な床で使用してください。傾斜・階段・段差(カーペットとフローリングの段差など)のある場所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しないでください。

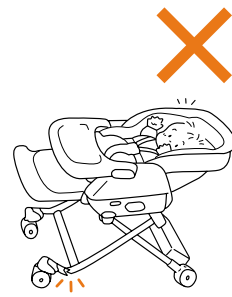


- 外から力をかけると転倒のおそれがあります。特にお子さまが乗っている場合はご注意ください。

- 1度に、2人以上のお子さまを乗せないでください。
- お子さまが乗っている場合も、乗っていない場合も、他のお子さまが手をかけたり、よじ登ることはおやめください。



- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。



- お子さまにラック(車輪ブレーキなど)を操作させないでください。お子さまが落下するおそれがあります。



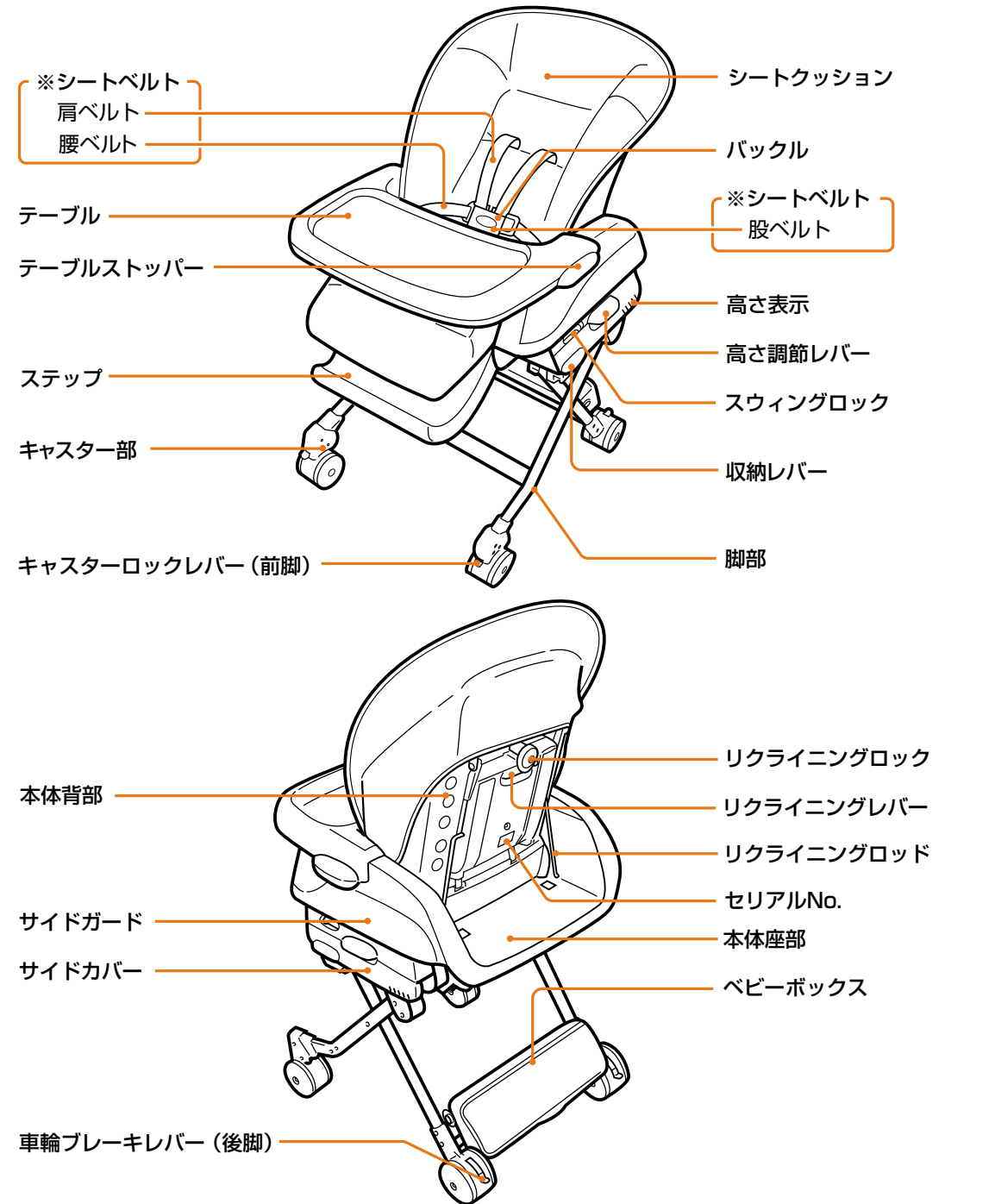
- 踏み台や台車、遊具のように使用しないでください。



⚠注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ラックが破損するおそれがあります。

- リクライニングで背もたれの角度を変えた後は、必ずリクライニングロックをしてください。
- シートクッションは必ず取り付けて使用してください。座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つくおそれがあります。
- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- 屋外では使用しないでください。
- ラックを風雨にさらすことはしないでください。

各部のなまえ



※シートベルトとは、「腰ベルト・股ベルト・肩ベルト」の総称です。

開封されましたら、各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- ① アンレーブ本体(シートクッション付)..... 1個
- ② ベビーボックス..... 1個
- ③ テーブル..... 1個
- ④ 取扱説明書(本書)..... 1冊

高さ調節のしかた

お部屋や利用するときの状態にあわせて、高さを5段階に調節できます。

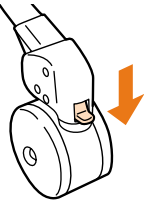


- お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 高さ調節は、必ず保護者が行ってください。



- 左右の高さ表示があっているかを、必ず確認してください。高さが違うときは再度調節し直してください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 高さを下げるときは車輪などが前後に移動します。足元に注意してください。
- 高さ調節をするときは、必ずスウィングをロックしてから行ってください。故障の原因となります。
- 高さ調節時に、ラックの脚の間に手を入れないでください。ケガの原因となります。

1 必ず前脚のキャスターロックレバーが下がり、ロックされていることを確認する。



詳しくは「キャスターロックの使いかた」(8ページ)をご覧ください。

2 左右の高さ調節レバーを押し上げたまま、本体を上下させて、利用する高さにする。



本体を持ち上げるようにすると、高さ調節レバーが押し上げやすくなります。

3 左右の高さ調節レバーから指をはなす。

4 左右の高さ調節表示が同じ位置であることを確認する。

左右の高さが違う場合は、もう一度やり直してください。

キャスター・車輪ブレーキの使いかた

室内で向きを変えたり、移動するときを使用します。移動しないときには、必ずキャスターと車輪ブレーキをロックしてください。



- キャスターは水平な床で製品の向きを変えたり、移動するとき使用するものです。そのため、傾斜・階段・段差のある場所では使用しないでください。
- 移動するとき以外は、必ずキャスターと車輪ブレーキをロックしてください。ロックされていないとラックが転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。

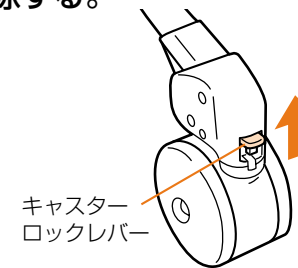


- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- キャスターと車輪ブレーキがロックされていないと、スムーズにスウィングできません。
- スウィングするときには、必ずキャスターと車輪ブレーキをロックしてください。

キャスターロックの使いかた(前脚)

キャスターを使用する場合

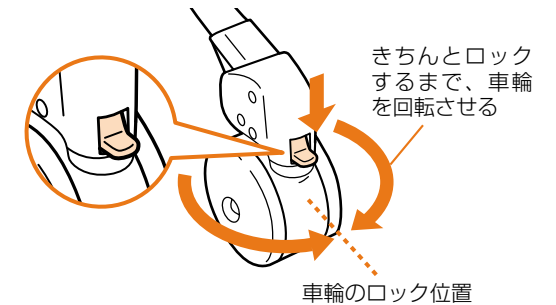
キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。



※キャスターの動きは、高さ調節の段階により異なります。動きが悪い場合は、高さ調節を最上段にしてください。

キャスターを使用しない場合

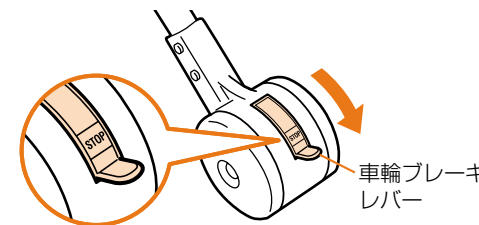
キャスターロックレバーを下げ、車輪を回転させて、図の位置でロックする。



車輪ブレーキの使いかた(後脚)

車輪ブレーキを使用する場合

車輪ブレーキレバーを矢印の方向に下げ、車輪をロックする。



※車輪ブレーキレバーを1番下まで下げると、「STOP」の表示が図の位置になります。

車輪ブレーキを使用しない場合

車輪ブレーキレバーを矢印の方向に上げて解除する。



使いかた

使いかた

シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト)の使いかた

シートベルトとは、腰ベルトと股ベルト、肩ベルトの総称です。

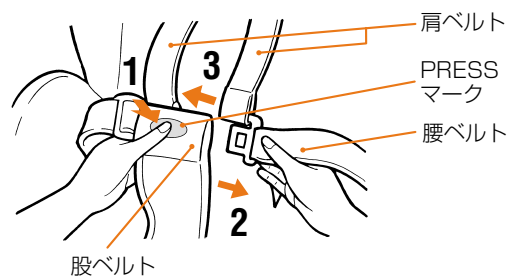


- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。簡易ベッドとして使用される場合は、必ず肩ベルトも使用してください。※スウィングを使用される場合も同じです。
- シートベルトを締めずに乗せたり、締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落下するおそれがあります。またシートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルト通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 左右の肩ベルトを交差させて装着しないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトのはずしかた、取り付けかた

シートベルトのはずしかた

1. バックルのPRESSマークを親指で強く押す。
2. 股ベルトから左右の腰ベルトをはずす。
3. 腰ベルトから肩ベルトをはずす。



シートベルトの取り付けかた

シートベルトを取り付けるときは、上記「はずしかた」を逆の手順で行ってください。

シートベルトの長さ調節

ベルトがゆるすぎたり、きつすぎるときは、調節し直してください。

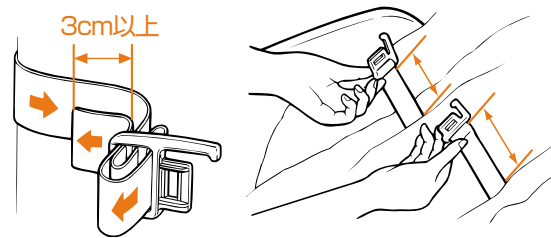
※肩ベルトには長さ調節機能はございません。調節が必要な場合は、股ベルトで長さ調節を行ってください。



- シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- 調節後は、シートベルトを引っ張り、抜けないことを確認してから調節してください。
- リクライニングで背もたれを寝かせた状態で使うときは、必ず肩ベルトも使用してください。
- 各ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと締めてください。

腰ベルトの長さ調節

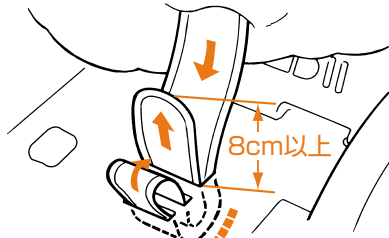
腰ベルトの長さを調節し、左右の長さを同じにする。



腰ベルトの先端は、3cm以上の長さを残してください。

股ベルトの長さ調節

シートクッションをめくり上げ、股ベルトの長さを調節する。



股ベルトの先端は、8cm以上の長さを残してください。

- リクライニングで背もたれの角度を変えると、シートベルトの長さが変わります。背もたれの角度を変えた後は、シートベルトの長さを調節し直してください。



- ベルト調節の目安は、シートベルトとお子さまの間に大人の指が入るくらいです。



- 肩ベルトを使わないときは、シートクッションの裏側に収納してください



シートクッションの裏側に収納できます。

使いかた

使いかた

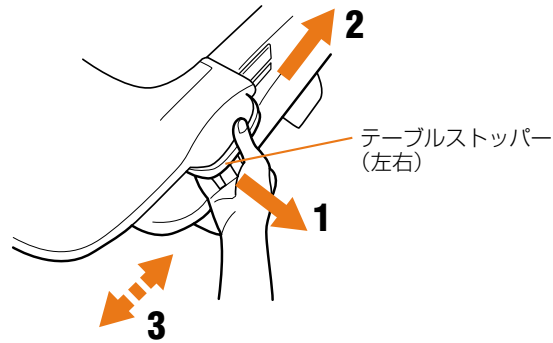
テーブルの取り付けかた

お子さまの成長にあわせて、前後方向に3段階の調節ができるテーブルです。

警告

- 本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たないでください。テーブルがはずれ、本体が落下するおそれがあります。
- テーブルでは、お子さまを支えられません。必ずシートベルトを使用してください。
- お子さまが本体側面の溝に指を入れると、ケガをするおそれがあります。
- テーブルの上に乗ったり、たたいたりしないでください。破損の原因となります。
- テーブルはお子さまの体にフィットさせてお使いください。

1. テーブル両側のテーブルストッパーを、外側に引っぱる。
2. 本体側面のテーブル差込溝に、テーブルをあわせて差し込む。
3. 前後3段階からお好みの位置にあわせる。
4. テーブルを軽く前後に押し、抜けないことを確認する。



テーブルのはずしかた

テーブル両側の2ヵ所のテーブルストッパーを外側に引っぱり、そのまま引き抜きます。

ベビーボックスの取り付けかた

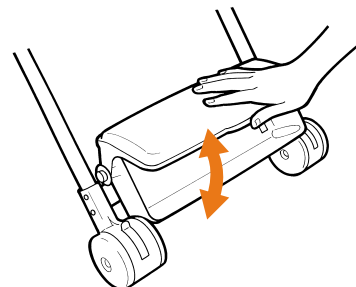
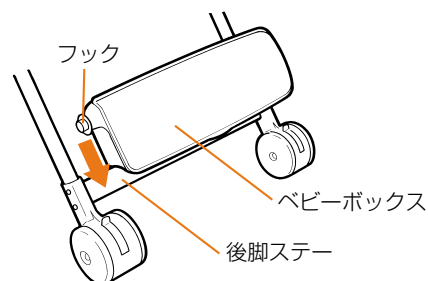
紙おむつやおしりふきなどを入れることができます。

注意

- 使用しないときは、必ずフタを閉めてください。足で踏んだりすると危険です。
- 本体を持ち上げて運ぶときは、ベビーボックスをはずしてください。ベビーボックスがはずれ、落下することがあります。
- ベビーボックスを開けたままにしないでください。
- ベビーボックスに体重をかけないでください。
- 合計3.0kg以上の重さのものを収納しないでください。
- ベビーボックスは、収納状態では使用しないでください。
- ベビーボックスは、必ず後脚側に取り付けてください。前脚側に付けると破損の原因になります。

● ベビーボックス両側にあるフックを後脚ステーにかけて取り付けます。

● ベビーボックスの開閉は、フタの凸部に親指をかけて行います。



リクライニングの使いかた

背もたれとステップが連動して動く、5段階のリクライニングです。

お願い

生後2~3ヵ月までの首のすわっていないお子さまは、1番寝かせた状態で使用してください。

警告

- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首にからまるおそれがあります。
- リクライニング操作は、必ずリクライニングレバーを持って行ってください。

注意

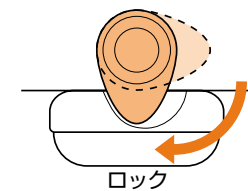
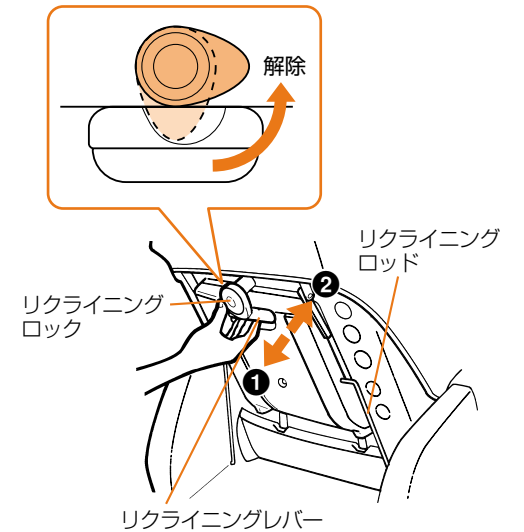
- リクライニングの操作をするとき以外は、リクライニングロックでロックしてください。
- リクライニングを操作すると、連動してステップの角度が変化し前方向に30cm程出ますので、障害物のないことを確認の上、操作してください。

※リクライニングの角度について詳しくは、「使いかたの目安」(1ページ)の「リクライニング角度の使用範囲」をご覧ください。

1 リクライニングロックを解除する。

2 ①リクライニングレバーを手前に引き、②ご使用になる角度のところで、リクライニングレバーを戻す。

3 リクライニングの角度を決めたら、リクライニングロックを元に戻して必ずロックする。



リクライニングロッドが溝に入っていることを確認してください。

スウィングの使いかた

心地よいゆれが、お子さまを落ちついた気分してくれます。
スウィングするときは、必ず前脚のキャスターと、後脚の車輪ブレーキをロックしてください。

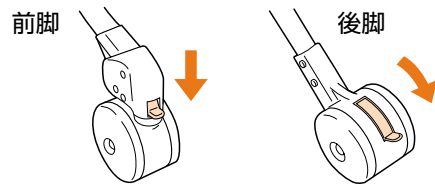
警告

- 必ずシートベルトを締めてください。
- 簡易ベッドとして使用するとき(1ページのリクライニング位置①と②)は、新生児～5・6ヵ月ころ(お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～8kg)にお使いください。
- 激しくスウィングさせないでください。
- スウィングは保護者が行い、必ず付き添ってください。また、スウィング時間の目安は15分です。それ以上のスウィングは避けてください。
- スウィングは簡易ベッドのみの機能ですので、いすのとき(1ページのリクライニング位置③④⑤)には使用しないでください。いすのときに使用した場合、テーブルなどの間に手足などはさんだり、乗り降りするときに不安定になります。特にお子さまがふざけて使用した場合、転倒などのおそれがあります。
- お子さまがブランコのようにして遊ぶことは危険です。転倒や転落のおそれがあります。

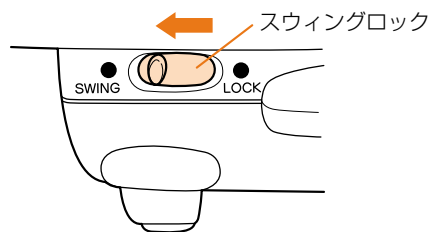
注意

- 生後2～3ヵ月で首のすわっていないお子さまを乗せてスウィングするときは、背もたれを1番寝かせた角度にしてください。背もたれを立てた状態でスウィングすると、お子さまが前のめりになったり、頭がぐらついたります。
- 授乳後30分以内のお子さまには、スウィングを使用しないでください。ミルクを吐くことがあります。
- スウィングを使用するときは、お子さまのようすをよく見ていてください。異常が見られるときは、すぐに中止してください。
- スウィングにより本体が前後方向に動くことがあります。あらかじめ障害物のないことを確認してください。
- 収納状態では、スウィングさせないでください。

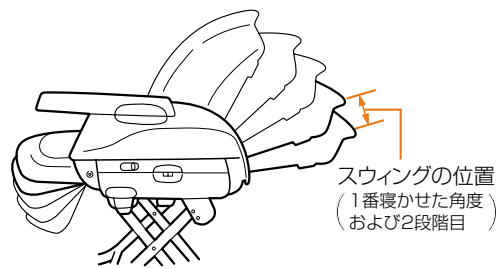
1 必ず前脚のキャスターと、後脚の車輪ブレーキをロックする。



3 左右のスウィングロックをSWINGの位置にする。



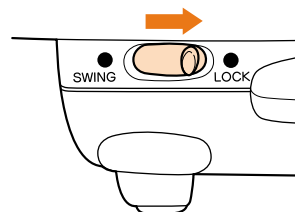
2 リクライニング角度を、スウィングの位置にする。



詳しくは「リクライニングの使いかた」(12ページ)をご覧ください。

4 手で背もたれをゆっくり押ししてスウィングさせる。

スウィングしないときは
スウィングロックをLOCKの位置にする。



スウィングを使用しないときは、必ずLOCKの位置にしてください。

収納レバーの使いかた

箱に収納するとき、コンパクトなサイズにできます。

警告

- お子さまを乗せたまま、収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 収納レバーの操作は、必ず保護者が行ってください。

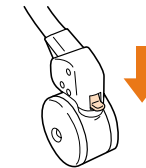
注意

- 収納状態では、スウィングさせないでください。
- 収納レバーを操作してラックの高さを下げるとき、ラック本体と床面との間に足や指などはさむおそれがあります。また車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。
- 収納した状態で移動しないでください。床面が傷つくおそれがあります。

1. リクライニングで背もたれの角度を1番寝かせた状態にする。

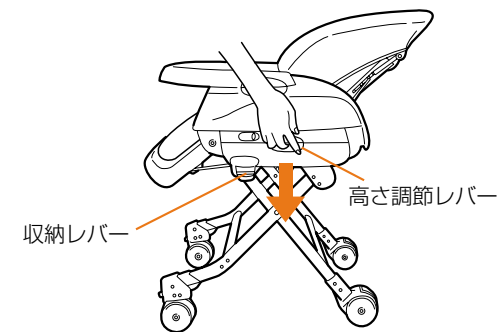
詳しくは「リクライニングの使いかた」(12ページ)をご覧ください。

2. 左右の前脚キャスターをロックする。



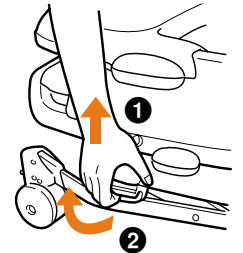
詳しくは「キャスターロックの使いかた」(8ページ)をご覧ください。

3. 高さ調節レバーで、本体の高さを1番低い位置にする。

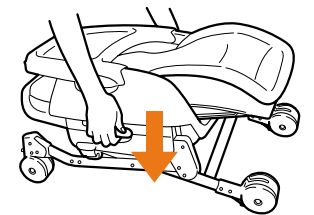


詳しくは「高さ調節のしかた」(7ページ)をご覧ください。

2 左右の収納レバーを指でつかみ、①上へ持ち上げるようにしてから②外側へレバーをゆっくり回して解除する。



3 収納レバーが解除されたら、そのままゆっくりと下げる。



- 収納位置から再度ラックをご使用になるときは、高さ調節レバーを操作し、ご使用になる高さまで持ち上げてください。
- 詳しくは「高さ調節のしかた」(7ページ)をご覧ください。

シートクッションの取り付けかた

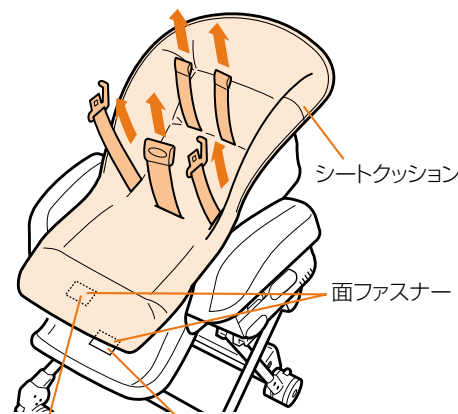


シートクッションは必ず取り付けてご使用ください。座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つくおそれがあります。

1. リクライニングで背もたれの角度を1番立てた状態にする。

詳しくは「リクライニングの使いかた」(12ページ)をご覧ください。

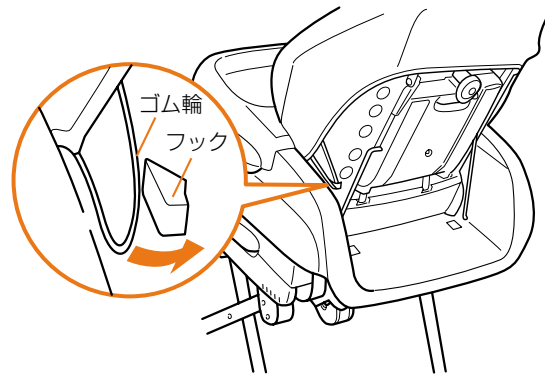
2. シートクッションを本体にかぶせ、シートベルト(肩ベルト・腰ベルト・股ベルト)をシートクッションの表側に引き出す。



※シートクッションの裏側に付いています。 ※ステップの中央に付いています。

3. シートクッションを本体の形にあわせて整え、面ファスナーで固定する。(面ファスナーの貼り付け位置を必ず確認してください。)

4. 正しい位置に固定できたら、左右のゴム輪を本体両側のフックにかける。



シートクッションをはずすときは

シートクッションをはずすときは、リクライニングで背もたれの角度を1番立てた状態にして、左右のゴム輪を本体両側のフックからはずし、上記「取り付けかた」を逆の手順で行ってください。

日常のお手入れのしかた

本体のお手入れ



中性洗剤原液でのお手入れや、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体を傷めるおそれがあります。

- 本体やテーブルが汚れたときは、薄めた中性洗剤またはぬるま湯を柔らかい布に含ませて、ふいてください。
- 車輪や車輪ブレーキは、ワックスやほこりなどが付着すると滑りやすくなります。薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、ふいてください。

シートクッション、股ベルト、肩ベルト、腰ベルトのお手入れ

手洗い 30	液温は30℃を上限として手洗いしてください。
	漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干ししてください。

- シートクッション、股ベルトは取りはずして、左記の洗濯表示に従い洗濯してください。
- 肩ベルト、腰ベルトはやわらかい布に水をしめらせてふき、陰干ししてください。
- 股ベルトは、バックルを付けたまま洗ってください。(バックルは取りはずしません)
- 製品の特性上、多少色あせすることがあります。
- 洗剤は、蛍光剤、漂白剤、酵素などを含まない天然脂肪酸をベースとした洗剤(コンビ おむつ・肌着洗い)を使用することをおすすめします。
※特に敏感肌のお子さまは上記の条件にあった洗剤を使用してください。
- 洗濯と脱水の際は、他の衣料品と区別されることをおすすめします。
- すすぎは充分に行ってください。
- 快適に使用していただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。



お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

スウィングラックQ&A

スウィングラックを正しく効果的にご使用いただき、お子さまとの楽しいひとときにお役立てください。

Q1

ハイ&ロースウィングラックは生後何ヵ月から使用できますか？

新生児から使用できます。
ただし、お子さまの首がすわるまでの2～3ヵ月までは、背もたれを1番寝かせた角度で使用してください。

Q3

スウィングの時間は何分ぐらいが適当ですか？

お子さまが機嫌よく、快い表情でいられるかを目安にしてください。
気持ちよさそうに眠り始めたときはすぐに止めないで、しばらくスウィングを続けてあげたほうがよいでしょう。
10～15分ぐらいを目安に考えてください。

Q2

1日にどれくらい、使用しても大丈夫ですか？

お子さまを座らせておく時間は、1回30分から1時間ぐらいが適当です。
お子さまが機嫌よくひとり遊びしている時間が目安になります。
お子さまには、やはりお母さまの抱っこが1番です。ラックに長時間いることはよくありません。
1日の使用時間は合計3～4時間が望ましいでしょう。
スウィングしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドやふとんに移すと目をさますことがありますので、よく寝ついてから移してあげてください。

Q4

スウィングさせるときの最適な揺らしかたはありますか？

背もたれを「スウィングの位置」にしてお子さまを寝かせ、ようすを見ながらやさしくスウィングしてあげることが最適といえるでしょう。
お子さまが眠ったときは、徐々に揺らしかたを小さくしてあげるようにしてください。

保管のしかた



火の近くなど、高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

●直射日光を避け、湿気が少なく、雨やほこりがかからない場所に保管してください。

点検とアフターサービスについて

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですから、むやみに改造や分解はしないでください。
- 本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマーブラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田27-1
TEL.(048)797-1000
FAX.(048)798-6109

コンシューマーブラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.(06)6536-0456
FAX.(06)6536-4468

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

SG マークの被害者救済制度

SGマークが表示されたスウィングラックを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「(財)製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より4年以内です。

- 賠償についてのご注意
- 認定したスウィングラックそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は(財)製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者(お子さまなどの場合は保護者でもよい)が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。
(財)製品安全協会 東京都中央区日本橋本町1-5-9 共同ビル7F
TEL.(03)5255-3631

●事故賠償に必要な項目

- ① 事故の原因となったスウィングラックの現品
イ)製品の名称、SG番号 ロ)製品の購入先、購入年月日
- ② 事故発生状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- ③ 被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ)被害の状況と程度(医師の証明書)